

表紙デザイン募集 !!**“鉄と鋼”と“材料とプロセス”**

本会は会誌“鉄と鋼”および講演論文集“材料とプロセス”を平成 5 年より一段の飛躍をはかるため、現在の B5 判から A4 判に変更いたします。内容の充実はもとよりたいへん読みやすくなる等よりよく利用できるようになります。21 世紀に向けて更に鉄鋼業の発展を志向した明るい表紙のデザインを募集いたします。

〔募集内容〕**(1) 鉄と鋼**

- ①版形 A4 判
- ②デザイン募集 表紙 1 と背表紙
- ③表紙 1 には、次の事項を必ず入れて下さい。(現表紙 1 に掲載しているコンテンツを入れる必要はありません)
 - ・鉄と鋼, TETSU-TO-HAGANE
 - ・Vol. 79, No. 1 (または Volume 79, Number 1) 1993
 - ・協会のシンボルマーク (下記参照)
 - ・社団法人 (または(社)) 日本鉄鋼協会, The Iron and Steel Institute of Japan
 - ・昭和 23 年 10 月 11 日第 3 種郵便物認可, 平成 4 年 12 月 25 日印刷納本, 平成 5 年 1 月 1 日発行 (毎月 1 回 1 日発行)
 - ・ISSN 0021-1575
- ④背表紙の必要事項
 - ・鉄と鋼 または TETSU-TO-HAGANE
 - ・Vol. 79, No. 1 1993
 - ・その巻の通し頁 1-130
- ⑤カラー印刷

(2) 材料とプロセス

- ①版形 A4 判
 - ②デザイン募集 表紙 1 と背表紙
 - ③表紙 1 の必要事項
 - ・材料とプロセス
 - ・日本鉄鋼協会講演論文集
 - ・Current Advances in Materials and Processes
 - ・Report of the 125th ISIJ Meeting
 - ・第 125 回 (春季) 講演大会
 - ・部門名 (例えば “材料の組織・性質”)
 - ④背表紙の必要事項
 - ・材料とプロセス
 - ・Vol. 6, No. 3 1993
 - ・その号の通し頁 1-300
- ・Vol. 6, No. 3
 - ・協会のシンボルマーク (下記参照)
 - ・社団法人日本鉄鋼協会 ((社) でも可)
 - ・The Iron and Steel Institute of Japan
 - ・ISSN 0914-6628

〔応募の形式〕

表紙 1, 背表紙をそれぞれ別の A4 判用紙に、実際の色を付けて描いてください。別紙に「鉄と鋼」あるいは「材料とプロセス」用か明記し、応募者氏名 (会員, 非会員を問わず), 所属, 連絡先, 電話番号及びデザインの簡単な説明を記入して、表紙案とともに送付願います。郵送の場合は折らないように願います。(両誌に応募いただいて結構です)

- ①締切り 平成 4 年 3 月 31 日 (火)
- ②提出先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 (社) 日本鉄鋼協会 編集・業務室
TEL 03-3279-6021 FAX 03-3245-1355
- ③決定予定 平成 4 年 6 月下旬

④決定方法 編集委員会が理事会、専門家の意見を参考にして決定

⑤採用発表 「鉄と鋼」にて発表予定

⑥謝礼 「鉄と鋼」, 「材料とプロセス」2点とも

採用作 15 万円

佳作2点 3 万円

⑦著作権 採用作品の著作権は、日本鉄鋼協会に帰属します。

⑧協会のシンボルマーク



⑨その他

1) 印刷工程との関係などで、変更を加えることがあります。また、適当な作品がない場合には採用を保留することもあります。応募作品は返却致しません。

2) 採用デザインを使用する期間は、目次内に毎号デザイン者の氏名を記載致します。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

平成 4 年秋季 (第 124 回) 講演大会案内

平成 4 年秋季講演大会は下記により開催されることになりましたのでお知らせいたします。

期 日 平成 4 年 10 月 6 日 (火), 7 日 (水), 8 日 (木)

会 場 富山大学五福キャンパス (富山市五福 3190)

講演申込締切日 平成 4 年 7 月

訂 正

論文「熱間圧延における高圧水脱スケール時の衝突圧」, 「熱間圧延における高圧水脱スケール時の鋼材の温度低下」(鉄と鋼, 77 (1991) 9, p. 1450, p. 1458) の本文について、以下のとおり訂正させていただきます。

	誤	正
p. 1453 左欄下から 2 行目 p. 1455 左欄上から 4 行目	$\pm \sqrt{4.60 \times 0.01/9} = \pm 0.12$ 式(5)式は、いずれも…	$\pm \sqrt{4.60 \times 0.01/3} = \pm 0.12$ 式(5)は、いずれも…
p. 1461 右欄上から 7 ~ 8 行目 p. 1463 右欄上から 18 ~ 19 行目 p. 1463 右欄下から 7 行目	次に、前報 ⁷⁾ で水流量 Q は一般に、ノズル流量 V と水圧力 P と関係し、次式で表されることを報告した。 $O. HENNIG$ ら ⁸⁾ が求めた低炭素鋼および低合金鋼のケールの脱スケールに必要な衝突圧… また、 $p \leq p_{max}$ と $\Delta T_D \leq 17^\circ\text{C}$ を同時に満足するものが…	次に、水流量 Q はノズル流量 V と水圧力 P と関係し、次式で表されることがわかった。 $O. HENNIG$ ら ⁸⁾ が求めた低炭素鋼および低合金鋼の脱スケールに必要な衝突圧… また、 $p \leq p_{max}$ と $\Delta T_D \leq 17^\circ\text{C}$ を同時に満足するものが…